

平成 30 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ
語学・大学留学コース 1月レポート
「Spring Semester 開始!」

土屋 美月

皆様、こんにちは。Happy New Year! あけましておめでとうございます。オハイオ州奨学生土屋美月です。1月の月例レポートです。年が明け、新学期も始まりました。生活リズムもガラッと変わり、気候はさらにぐっと寒くなり、2019年も新しい気持ちで頑張ろうと思っておりますので、皆様どうぞよろしく願いいたします。さて、今月のレポートでは大学で行った新年会、春学期の様子、そして大雪が降った日のことをメインにお伝えしていきたいと思ます!

新年会 (New Year Celebration)



フィンドレー大学の日本語を勉強している学生と、日本人留学生、また日本文化に興味を持っている学生で集まって新年会を行いました!日本人の先生がお餅を作ってください、みんなで餡子やお醤油、きな粉などで味付けをしていただきました。さらに、新年の抱負を込めて書き初めをしました。私はこの会の書き初めの係を担当させていただき、準備から書初めの説明などをしました。参加してくれた学生はみんな書き初めを楽しんでくれたようで、いろいろな日本語の単語や文字に興味深そうに「これは何て読むの?」「~~は日本語でどうやって書くの?」などと質問してきてくれたりもしました。自分の国の文化に興味を持っていることが非常にうれしかったです。書き初めとお餅で、新年への気合いもばっちり!帰国までしっかり頑張りたいと思います。



Spring Semester (春学期)

アメリカの大学は新年1月から Spring Semester が始まります。日本の大学

の学暦と大きく違うので日本にいる友人はついこの間学年末試験に追われていたため、違いを実感していました。今学期は留学生の英語クラスに加え、翻訳の授業とスペイン語を履修しています。

スペイン語は、日本の大学で2年間学んでいたもので、中級スペイン語を履修中です。アメリカに来てから、南米でスペイン語が話されているからか、スペイン語を見かけることが多いと感じ、アメリカ人の友人もスペイン語を話せる人が多く、勉強する意味は大きいと実感したので履修を決めました。英語という外国語でさらにスペイン語という外国語を学ぶのは、大変なこともあります。言語学的気づきも多々あり、大変興味深いです。

翻訳の授業は、日本人の先生が日英・英日の翻訳について教えてくださっています。授業の一環として、地元の病院のガイドを翻訳してほしいとの依頼があったようで、私たちが現在授業で翻訳しているものを、オフィシャルに病院で使用してくださるそうです。責任も重大ですが、とても勉強になることが多く、楽しんで翻訳を行っています。

これらの授業と、秋学期同様ジャズバンドとコーラスの授業も引き続き受けています。また今学期にもコンサートが何回か開催されるので楽しみです。

Snow day

今月の中旬に、フィンドレーは大雪に見舞われました。雪も降って風も強かったため、実際の気温は -20°C 、体感温度は -30°C ほど。最終的には20~30cmほど積雪していました。今まで経験したことのない寒さと雪に驚きました。でも、まっさらな雪景色はきれいでした。



Dean' s List

余談ですし私事で恐縮ではございますが、成績優秀者のDean' s Listに載りました。Fall Semesterに全科目オールA、GPA4.0を獲得したためだそうです。今までの学生生活の中で1番の成績だったのですごくうれしかったです。Spring Semesterもいい成績を修められるように頑張りたいと思います！